

祝 辞

森羅万象に清新の気が満ちあふれている今日の佳き日に、崇城大学並びに大学院に入学した、新入生の皆さん、入学おめでとう。教職員一同、希望に満ち溢れ、大きな志を抱いて、入学してきた皆さんを、心から祝福します。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。入学されたお子様を、教職員一同、心から歓迎し、保護者の皆様のご期待に応えるべく責任を持って教育して参ります。

さて、学部新入生の皆さん、入学おめでとう。本学は、皆さんの夢や希望を叶えるために、充実した施設設備の学習環境を整えるとともに、世界に名をなす素晴らしい先生方が、温かい心で皆さんをお迎えし、一生懸命教授させていただきます。

また、厳しい選考試験に合格し、晴れて大学院に進学する皆さん、進学おめでとう。学部教育の上に、更に専門的な知識や技術を極めようとしている、皆さんの志の高さに衷心より敬意を表します。学部時代の研究が更に大きく飛躍するよう期待しております。

ところで、皆さんを取り巻く社会は、国が「ソサイエティー5.0」社会と呼んでいるように、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)が高度に融合した、いわゆる、近未来的社会を迎えようとしています。即ち、IOT(Internet of Things)や人工知能 AI の普及と共に、今後、現実拡張や人間拡張が急速に進展し、便利で快適な生活が実現できると言われています。例えば、企業では、あらゆる分野が自動化され、安全性、生産性の向上と共に創造性を重視した職場になると言われていますし、また、モビリティは空飛ぶ自動車が主流になるかもしれません。そして、通貨はキャッシュレスを経てデジタル・マネーとなり、さらに、モノの所有がシェアへと変化するなど、社会の価値観そのものが大きく変わるのではないかと言われています。まさに、well-being を目指した、新時代の到来であり、社会は今後急速に大変革を遂げていくことになると思います。

では、その新時代を誰が創出し、築き上げていくのでしょうか。実は、世の中全体が大きく動くとき、また社会の価値観が大きく変化するとき、そのエンジンは常に若者が担ってきました。多様で理想的な未来創出のためには、若者一人ひとりの積極的な参画が極めて重要であり、若い皆さんの力が強く求められているのです。皆さんは、高校において、「情報」という必修科目を、日本の教育史上始めて履修し

ました。そして、プログラミング教育を受けると共に、学習全般においてタブレット活用の授業を実践してこられたことと思います。正に、皆さんは、「未来社会」創造のパイオニアなのであります。是非、未来課題への取り組みに積極的に参画して下さい。皆さんには無限の可能性が 있습니다。しっかりとした心構えを持って、自分のやりたい夢や目標を見つけ、努力すれば、必ずやイノベーターになることができます。その心構えは、ただ一つ、自ら積極的に学ぼうとする姿勢を持つこととあります。

大学は、最高学府であり、学問の府であります。最高学府とは、最高の学問を行うところであり、未知の領域に挑戦する研究機関であります。そして、学問とは、読んで字のごとく、自ら問い、自ら学ぶことです。すなわち、学生の皆さん自身が主体的に学問に取り組むことが求められているのです。従って、入学生の皆さんは、大学で『何を学ぶか』、自ら決めなければなりません。『受け身の学習』から『求める学習』にギアチェンジしていただきたいと思っています。それは、決して難しいことではありません。本学は、様々なプログラムやアクティビティを準備し、皆さんを一生懸命サポートさせていただきます。皆さんには瑞々しい好奇心を常にフル回転し、あらゆることにアグレッシブに挑戦してほしいと願っています。多くの人たちと「わいわい、がやがや」話し合うことがとても重要であります。そのような活動の中で、『自分にとって大切なことは何か。自分は何をやりたいのか、何が好きなのか。』自らに問うことだと思います。必ずや、ワクワクするような夢や目標を見つけることができます。その夢や目標に向かって主体的に努力して下さい。それが、他ならぬ、『求める学習』であり、『何を学ぶか』になります。

そして、この『求める学習』を地道に続けることにより、独自の才能を高めることができ、素晴らしい未来社会の創成に貢献できると確信しています。皆さんの頑張りに期待します。

時に、皆さんにお願いしたいことが、もう一つあります。それは、「人への思い遣りを持った優しい心を育んでいただきたい」ということとあります。

現代の情報化時代を俯瞰してみると、それは正に疑似体験の世界だと言われることがあります。現代人は、昔の人に比べ、自分で実際に体験するよりも、テレビやSNS等の情報媒体の中で疑似体験することが多くなっているように思います。これらは、いわゆるバーチャルな、虚構の世界であります。虚構世界では、人の本当の温もりを感じることはできません。虚構世界は、人との繋がりを薄くします。皆さんが多くの人に支えられ今日の日を迎えることができたように、人は、人に支えられて生きているのです。従って、人は、人に感謝し、人のために生きようとしています。人の優しさ、温かさに触れたとき、人は大きな感動を覚えます。人に感謝さ

れば、心が満たされます。疑似体験では経験できないことであります。そこで皆さんにお願いしたいことは、本学において、課外活動やボランティア活動など「実体験」にアグレッシブに取り組んでいただきたいということです。様々なアクティビティを通じて人を思い遣ることの大切さを学び、また、多くの人達とのコミュニケーションを通して、人の温かさを感じて欲しいと願っています。人を大切にする心は最も崇高な精神なのであります。

さて、最後になりますが、崇城大学の理想は、「学生の皆さんが活き活きとして、日本一、笑顔あふれる大学になる」ことであります。どうか、皆さんは、これからの本学での学園生活において、多くの友人達と切磋琢磨し、元気に、楽しく、自分の個性を伸ばしていただきたいと思います。

崇城大学は、皆さんを鍛える道場であります。この道場での厳しい修業を通して、皆さんが自らを磨き、大きく、大きく成長してくれることを期待し、祝辞といたします。

令和七年四月五日

学校法人 君が淵学園
理事長 中山峰男